

# エコへるす



〇〇●●長野県環境保全研究所ニュース 平成 21 年 (2009 年) 11 月 25 日発行●●〇〇  
安茂里庁舎 〒 380-0944 長野市安茂里米村 1978 TEL.026-227-0354 FAX.026-224-3415  
飯綱庁舎 〒 381-0075 長野市北郷 2054-120 TEL.026-239-1031 FAX.026-239-2929  
http://www.pref.nagano.jp/xseikan/khozen Email: kanken@pref.nagano.jp

## 新型インフルエンザ調査体制と県内の流行状況

インフルエンザの流行状況は、大きく分けて3つの調査体制で把握しています。

1つ目は、地域における感染拡大の探知のための調査です。これは、医療機関や社会福祉施設等の集団発生患者数や学校等のインフルエンザ様疾患による休校、学級閉鎖の状況をまとめたものです。図1に示すように、県内では、第36週(8月31日～9月6日)から患者・休校数が増加し、第44週(10月26日～11月1日)には更に増加して、冬場に向けて増加する勢いです。

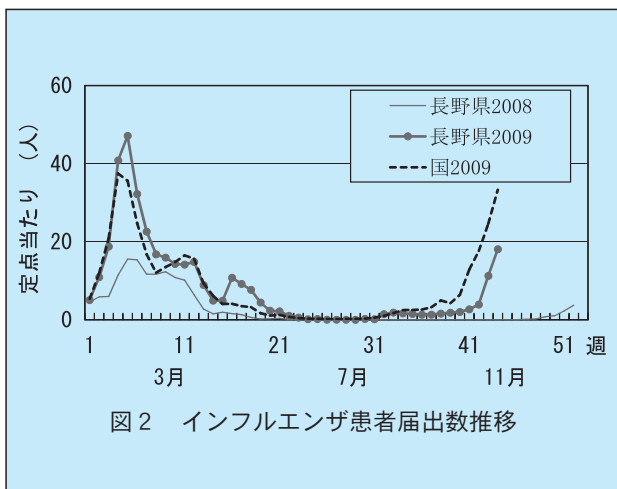
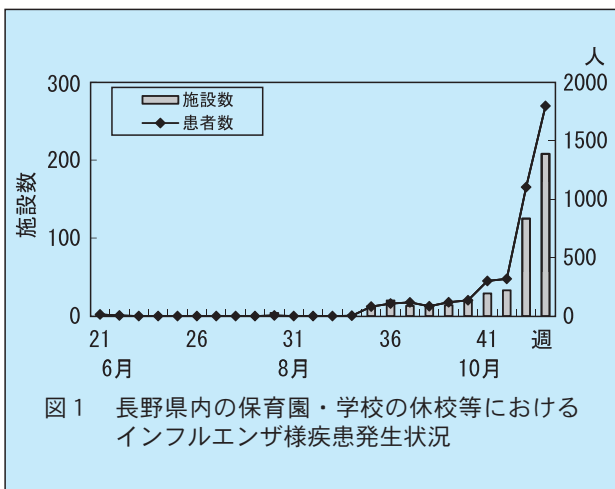
2つ目は、全体的な発生動向の把握のための調査です。予め決まっている医療機関(定点医療機関)から報告される1週間当りのインフルエンザ患者数の報告によるものです。図2に示すように、直近の第44週の長野県は1定点当たり平均18.9人、全国は32.8人です。全国平均と比較すると少ないですが、昨年同期と比べると極端な増加傾向にあります。

3つ目は、重症化及びウイルスの性状変化の監視のための調査です。これは、新型インフルエンザで入院した患者の臨床情報と、重篤な入院患者や定点医療機関を受診した患者から検出されたインフルエンザウイルスの型(新型、A香港型、Aソ連型、B型等)や病原性の変化等を把握する調査です。

当所ではこれらの調査について、5月から10月までに384件のPCR検査を実施し、新型インフルエンザウイルス282件、A香港型インフルエンザウイルス7件を検出しました。このことから、現在流行しているほとんどが新型であると思われます。

今後、抗原性の変化や抗インフルエンザウイルス薬の感受性の変化を把握するとともに、情報提供に努めてまいります。

(長瀬 博 kanken-kansen@pref.nagano.jp)



目次	特集 「新型インフルエンザ」	トピックス「私たちの暮らしと食品添加物」・・・5
	・ 新型インフルエンザ調査体制と県内の流行状況・・・1	自然ふれあい講座報告・・・・・・・・・・・・・・6
	・ 日本の医療現場における新型インフルエンザのインパクト・・・2・3	研究所日記「研究所の大公開」・・・・・・・・・・・・7
	・ 基幹病院における新型インフルエンザ感染対策・・・4	研究所日記「海外技術研修員の研修体験」・お知らせ「公開セミナー」・8